

| 番号<br>(頁) | 報告書（素案）  | 報告書（案）   |
|-----------|--|--|
| 1<br>(P1) | <p>はじめに</p> <p>このような状況を踏まえ、兵庫県においては、「より良質な医療の提供」「安心してかかる県立病院の実現」「自立した経営の確保」「安定した医療提供体制の確立」を柱とする「第3次病院構造改革推進方策」を平成26年4月に策定した。</p> <p>-----</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>県立病院として運営するならば、「はじめに」で、県立病院の機能は高度専門・特殊医療を展開することと、地域医療を支援することだと明確にするべき</p>  | <p>はじめに</p> <p>このような状況を踏まえ、兵庫県においては、「より良質な医療の提供」「安心してかかる県立病院の実現」「自立した経営の確保」「安定した医療提供体制の確立」を柱とする「第3次病院構造改革推進方策」を平成26年4月に策定し、<u>高度専門・特殊医療を提供する県立病院として、地域医療提供体制における中核的な役割を担ったり、医療人材の確保・育成等の課題に対応しているところである。</u></p> |
| 2<br>(P2) | <p>1 中播磨・西播磨圏域の現状と課題</p> <p>(2) 医師の偏在</p> <p>② 特に西播磨圏域においては、県内で最も医師数が少ない状況であることから、県西部において教育・研修機能を備えた<u>マグネットホスピタル</u>を整備し、若手医師が定着できる仕組み作りが求められる。</p>   | <p>1 中播磨・西播磨圏域の現状と課題</p> <p>(2) 医師の偏在</p> <p>② 特に西播磨圏域においては、県内で最も医師数が少ない状況であることから、県西部において教育・研修機能を備えた<u>リーディングホスピタル</u>を整備し、若手医師が定着できる仕組み作りが求められる。</p>  |
| (P11)     | <p>3 新病院に必要な診療機能</p> <p>(1) 診療機能</p> <p>① 基本方針</p> <p>オ 先進医療や先制医療への貢献を含めた質の高い診療・教育・研究を行い、将来の活躍が期待される医師・医療従事者が集まる<u>マグネットホスピタル</u>を目指す。</p>   | <p>3 新病院に必要な診療機能</p> <p>(1) 診療機能</p> <p>① 基本方針</p> <p>オ 先進医療や先制医療への貢献を含めた質の高い診療・教育・研究を行い、将来の活躍が期待される医師・医療従事者が集まる<u>リーディングホスピタル</u>を目指す。</p>  |
| (P15)     | <p><b>【資料4】新病院整備候補地について（事務局案）</b></p> <p>1 整備候補地</p> <p>(1) 整備候補地の条件</p> <p>① 中播磨・西播磨圏域の医師確保に対する寄与</p> <p>新病院が<u>マグネットホスピタル</u>として全国から若手医師を集めることが可能な立地とすること。</p> <p>-----</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>マグネットホスピタルという言い方は、専門家は医師を集めるという意味で限定して使われているが、一般には患者も含めて、何から何まで吸引してしまうのではないかと非常に広い意味で取られてしまうので変えた方がよい。</p> | <p>4 整備場所</p> <p>(1) 整備候補地の条件</p> <p>② 中播磨・西播磨圏域の医師確保に対する寄与</p> <p>新病院が<u>リーディングホスピタル</u>として全国から若手医師を集めることが可能な立地とすること。</p>   |

| 番号<br>(頁) | 報告書 (素案)   | 報告書 (案)   |
|-----------|--|---|
| 3<br>(2)  | <p><b>1 中播磨・西播磨圏域の現状と課題</b><br/> <b>(2) 医師の偏在</b><br/>           ③ 姫路市周辺の高校では、医学部への進学者数が多いが、地元に戻ってくる医師が少ないことが一つの課題であると思われる。</p> <hr/> <p><b>【委員意見】</b><br/>           地元に戻ってくる医師を戻す仕組みとして、若手医師のキャリア形成が可能となる教育・研修機能を有する病院が必要であることを明記すべきである。</p>   | <p><b>1 中播磨・西播磨圏域の現状と課題</b><br/> <b>(2) 医師の偏在</b><br/>           ③ 姫路市周辺の高校では、医学部への進学者数が多いが、地元に戻ってくる医師が少ないことが一つの課題であり、<u>若手医師のキャリア形成が可能となる教育・研修機能を有する病院が必要である。</u></p>  |
| 4<br>(10) | <p><b>2 県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の現状と課題</b><br/> <b>(2) 課題</b><br/>           ③エ <u>専門医制度の見直し</u><br/>           平成 29 年度に専門医制度の見直しが行われることとされており、新専門医制度において<u>主要な診療科（内科、外科等）の基幹病院となりうる指導医・症例数の確保が出来ない場合、若手医師の確保が非常に難しくなると想定される。</u></p> <hr/> <p><b>【委員意見】</b><br/>           専門医制度の見直しは、あくまで一つのきっかけであり、若手医師のキャリア形成に必要な体制を整備していくということに主眼をおくべきである。</p> <p><b>【委員意見】</b><br/>           幅広い診療科において若手医師のキャリア形成が図られる体制の整備が必要である。</p> | <p><b>2 県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の現状と課題</b><br/> <b>(2) 課題</b><br/>           ③エ <u>若手医師のキャリア形成</u><br/> <u>若手医師のキャリア形成が可能となる教育・研修機能を有する必要がある。</u><br/> <u>特に、平成 29 年度に専門医制度の見直しが行われることとされており、新専門医制度において基幹病院となりうる指導医・症例数の確保を図っていく必要がある。</u></p> |
| 5<br>(14) | <p><b>3 新病院に必要な診療機能</b><br/> <b>(4) 教育・研修機能</b><br/>           ③ ICT を用いたテレカンファレンス、遠隔診断技術の導入等により、中播磨・西播磨圏域の<u>公立病院等</u>の研修体制、診療体制を支援する。</p> <hr/> <p><b>【委員意見】</b><br/>           「公立病院等」をもう少し広げて、地域の周りの病院をできるだけ手上げ方式で支援していただきたい。</p>  | <p><b>3 新病院に必要な診療機能</b><br/> <b>(4) 教育・研修機能</b><br/>           ③ ICT を用いたテレカンファレンス、遠隔診断技術の導入等により、中播磨・西播磨圏域の<u>地域医療機関等</u>の研修体制、診療体制を支援する。</p>   |

| 番号<br>(頁)  | 報告書 (素案)  | 報告書 (案)  |
|------------|---|--|
| 6<br>(P16) | <p><b>【資料4】新病院整備候補地について (事務局案)</b></p> <p><b>1 整備候補地</b></p> <p><b>(3) 留意事項</b></p> <p>① 当該敷地は姫路市が誘致を進める高等教育・研究機関等との併設が前提であることから、姫路市と十分に連携を図ること。</p> <p>② 整備後間もない現製鉄記念広畑病院の建物を活用した播磨南西部地域の医療提供を確保するため、県及び社会医療法人製鉄記念広畑病院の両者において地元姫路市の協力を得ながら、医療機関の誘致を図っていくこと。</p> <p>その際、まずは、医療圏域内に病床を有する病院の移転誘致に注力し、それが不可能な場合は、圏域外からの誘致を図っていくこと (ただし、圏域外からの誘致の場合は、新たな病床の確保が必要なため、中播磨圏域健康福祉推進協議会等と協議の上進めていく必要がある)。</p> <hr/> <p><b>【委員意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該用地は姫路市所有の用地であることから、市と十分に調整する必要があることを記載いただきたい。</li> <li>・姫路市は高等教育・研究機関の機能として、獨協学園を誘致しようと考えていることから、固有名詞を記載いただきたい。</li> </ul> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>西播磨の中でも臨界部分の赤穂市、上郡町、相生市は、臨海部内での圏域内での医療完結率の割合は高く、そのことは、委員の皆様にもご理解いただきたい。</p> <p><b>【委員意見】</b></p> <p>圏域内であっても圏域外であっても経営母体が変わるのであれば、若しくは病床数が増えるということになれば、いずれも中播磨圏域健康福祉推進協議会で協議が必要である。</p> | <p><b>1 整備候補地</b></p> <p><b>(3) 留意事項</b></p> <p>① 当該敷地で整備を進めるに当たっては、地元姫路市と十分調整を図ること、また、姫路市が誘致を進める獨協学園が整備予定の高等教育・研究機関等との併設が前提であることから、施設間の連携にも十分配慮すること。</p> <p>② 整備後間もない現製鉄記念広畑病院の建物を活用した姫路南西部地域の医療提供を確保するため、県及び社会医療法人製鉄記念広畑病院の両者において地元姫路市の協力を得ながら、医療機関の誘致を図っていくこと。</p> <p>その際、まずは、医療圏域内に病床を有する病院の移転誘致に注力し、それが不可能な場合は、圏域外からの誘致を図っていくこと。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 20px 0;"> <p>いずれの場合でも中播磨圏域健康福祉推進協議会との協議が必要であることから、ただし書き以降を削除</p> </div> |

| 番号<br>(頁)  | 報告書 (素案)  | 報告書 (案)   |
|------------|---|---|
| 7<br>(P17) | <p><b>5 両病院統合の進め方</b></p> <p>③ <u>基本計画については、現病院の運営主体である兵庫県及び社会医療法人製鉄記念広畑病院、関連大学、姫路市等関係自治体を中心に、医療関係者、住民等の意見も十分踏まえたうえで策定する必要がある。</u></p> <hr/> <p><b>【委員意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業を進める際に地元姫路市の理解が必要であることを記載していただきたい。</li> </ul> <p><b>【委員意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画で具体的な機能、病床数が定まることから、医師会としても、この報告書で終了とするのではなく意見発信をしていきたい。</li> </ul> <p><b>【委員意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域医療構想西播磨版で「統合再編新病院には医師の派遣等を期待する」としており、具体化を進める中でそのような要素もぜひ考慮いただきたい。</li> </ul> | <p>5 両病院統合の進め方</p> <p>③ <u>県が報告書の具体化を進めるために策定する基本計画については、社会医療法人製鉄記念広畑病院と連携して検討するほか、地元姫路市や中・西播磨地域の自治体や医療関係者等の意見を求め、理解が得られるよう努める。</u></p> |